

経営比較分析表（平成30年度決算）

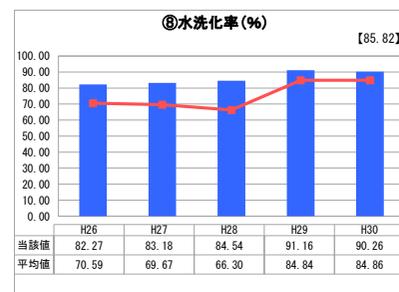
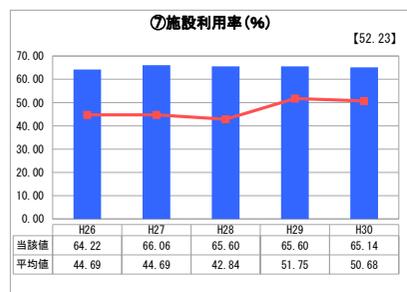
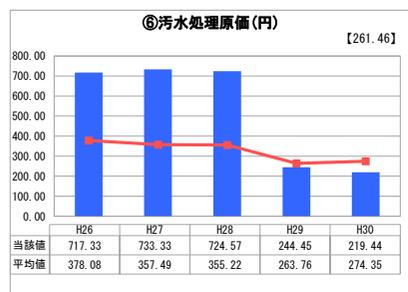
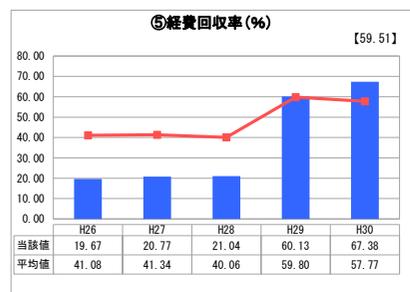
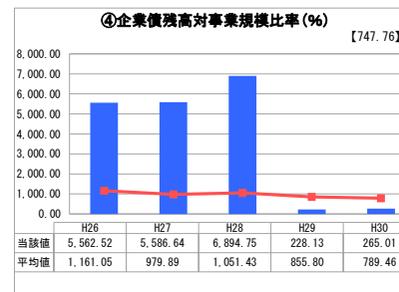
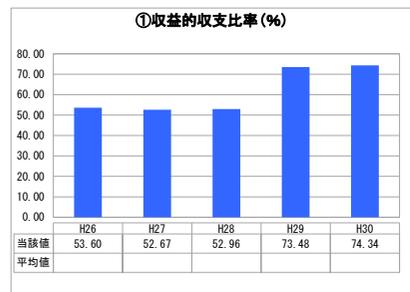
香川県 三木町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.18	87.83	2,681

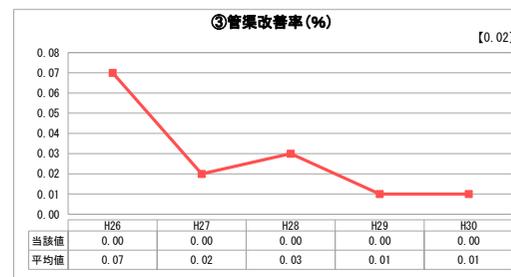
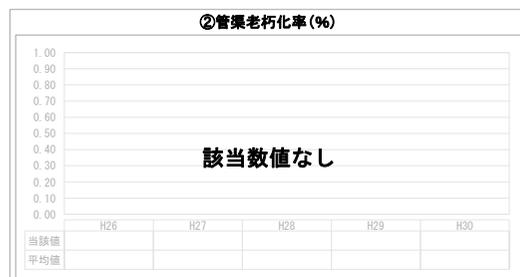
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,331	75.78	373.86
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
616	0.45	1,368.89

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率、⑤経費回収率
農業集落排水事業（井上北部地区）については、前年度比較において収支比率は0.86%の増となっておりますが、一般会計繰入金等の営業外収益に依存している部分があることから、今後とも経営改善を図っていく必要があります。また、同事業地区における使用料については、今後、新規接続件数が大きく伸びることは考えにくく、同様の収益状態が予想されることから、経営改善傾向には、主として汚水処理費の削減に努める必要があると考えています。

④企業債残高対事業規模比率
平成29年度の井上南部地区供用開始により、地方債償還金に対する一般会計負担額が増加し、類似団体値を下回る数値となっておりますが、営業収益として大きな増収があったものではありません。

⑥汚水処理原価
汚水処理原価は平成29年度から大きく下がっておりますが、汚水処理費の減少によるものではなく、汚水処理費の計上方法の見直しによるものです。類似団体比較でも平均値を下回っており、効率的な汚水処理を実施できていると思われるものの、経費回収率は約67%と100%を下回っているため、継続的な汚水処理費削減に努めるなど、更なる経営改善に取り組む必要があると考えています。

⑦施設利用率、⑧水洗化率
平成14年度に供用開始した井上北部地区については、施設利用率、水洗化率ともに効率よく稼働しています。また、類似団体平均値と比較しても高い水準を保持しています。

2. 老朽化の状況について

井上北部地区における管渠施設については、供用開始から16年を経過しておりますが、耐用年数を超過しておらず、これまでにクラックや破損及び腐食等の管渠の劣化は、確認されていません。施設の中で耐用年数の短い機械、電気設備については、機器更新や修繕時期が一時に集中しないように、個々の緊急性、必要性、優先度を総合的に判断し、計画的に更新及び修繕を行っています。

全体総括

供用開始から16年を経過した井上北部地区では、適切な診断や定期点検により、これまでに致命的な故障等のトラブルはなく、今後も引き続き適正管理に努め、処理施設等の長寿命化を図っていきたく思います。

令和元年11月から一部供用開始となった三木東地区については、現任、事業完了を目指し国庫、県費補助の他、地方債等を充当し、工事を進めておりますが、より効率的かつ迅速に事業を推進してまいります。また、供用を開始したエリアについては、施設利用の促進及び水洗化率向上に取り組むとともに、令和2年度に経営戦略を策定し、当事業経営の健全化、効率化、安定化を図ります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。